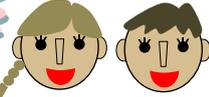
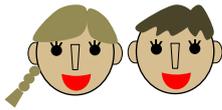


今月の 国内拠点ニュース

2017 年後半は
北の北海道から、
ご紹介します！



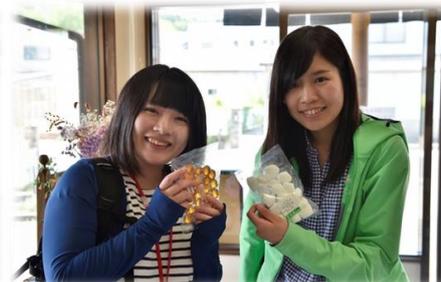
～地域も途上国も元気に～VOL. 37 (2017 年 7 月号)

先日、駒ヶ根在住の青年海外協力隊OBが任国バングラデシュを支援するために立ち上げたNPOの設立記念パーティーに出席しました。25 年前に帰国した一人のOBが持ち続けた熱い思いと、彼の思いに心を動かされ彼を支える仲間たちの思い。大勢の「思い」に、心が熱くなりました。同日同時刻、駒ヶ根市内の別の会場では、駒ヶ根のNGO「ネパール交流市民の会」のワークショップが開かれており、大学生も交じって将来の方向性を議論したようです。ここでも、中心にいたのは協力隊OGでした。「訓練所のある町・駒ヶ根」での、ボランティアOBOGの「持続する情熱」に励まされています。

2017 年 7 月 3 日

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 所長 清水 勉

センター	掲載記事
◆札幌	【浜頓別小学校さんのほっかいどう地球ひろば訪問】
◆帯広	笑顔と元気があふれる校舎へ
◆東北	秋田銀行、山形銀行、荘内銀行、北都銀行と JICA 東北が覚書を締結
◆二本松	188 名の「よそ者」の視点で二本松市の魅力を発見！！
◆筑波	取手歯科衛生専門学校施設訪問～研修員に歯磨き指導を実施～
◆東京	荒川区教育委員会と JICA 東京が「国際協力出前講座」にかかる覚書を締結
◆横浜	世界を変えるアイデア展／写真展「ハワイ日系人の歩み」
◆北陸	JICA 北陸 設立 25 周年！ 2017 年度の合言葉は「温故創新」です！
◆駒ヶ根	2017 年度第 1 次隊派遣前訓練が修了しました！
◆中部	中京大学と大学連携ボランティア 2 案件に関する覚書を締結
◆関西	「アフリカで活躍する関西の企業」～スマイリーアースのウガンダでの活動～
◆中国	【イベント報告】JICA 研修員 地域の運動会に参加
◆四国	【四国初】鳴門教育大学と連携ボランティア派遣に関する覚書を締結
◆九州	今年もやります、民族衣装で COOL BIZ！
◆沖縄	青年海外協力隊員 與那原祥さん、ソロモン諸島との五輪協定に貢献
◆地球ひろば	ブロックで考える、私たちにできること



◆札幌

【浜頓別小学校さんのほっかいどう地球ひろば訪問】



はるばる道北の浜頓別町のみなさんが、札幌まで修学旅行でJICAのことや外国の異文化理解について学びにきてくれました。展示や民族衣装など多くのことに興味を持って、取り組んでくれました。プログラム最後の発表では、「自分たちの今の生活が世界から見たら当たり前じゃないことがわかり、立ち止まって考えてみたい」という意見が出て、これには生徒の皆さんの多くがうなずいていました。今回の訪問をきっかけに海外にも目を向けてくれることを期待しています！

該当ページ <https://www.facebook.com/jicahokkaido.sapporo/posts/1246701912126332>

★札幌のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html>

◆帯広

笑顔と元気があふれる校舎へ（幕別町立札内北小学校への研修員学校訪問）



5月24日にブータン、ブルキナファソなど8カ国9名のJICA研修員が、幕別町立札内北小学校の3年生、4年生と交流をしました。校舎内や授業の様子を見学し、学校の時間割や日直の役割、子ども達のお道具箱に興味津々。「最初にどんな漢字を学びますか？」、「一つのクラスに先生は何人いますか？」などの質問を投げかけました。体育館で行われた交流会では、一緒にじゃんけん列車で盛り上がりました。バングラデシュのヌルルさんは「大きくなったら世界に何か良いことができる大人になってください」と語りかけました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2017/20170530.html>

★帯広のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/index.html>

◆東北

【民間連携事業】秋田銀行、山形銀行、荘内銀行、北都銀行とJICA東北が覚書を締結



JICA東北は、5月26日に株式会社秋田銀行、株式会社山形銀行、フィデアホールディングス(株)を持株会社とする株式会社荘内銀行及び株式会社北都銀行との間で、中小企業海外展開支援事業等における連携強化のために「業務連携・協力に関する覚書」をそれぞれ締結しました。山形県では、中小企業海外展開支援事業において、これまでに3社3件、秋田県では1社1件の採択実績があります。本覚書締結により、さらに連携を強化し、今後も両県内で、より幅広い支援を実施していきたいと考えております。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tohoku/new.html>

★東北のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tohoku/index.html>

◆二本松

188名の「よそ者」の視点で二本松市の魅力を発見！！



JICA二本松の派遣前訓練では語学学習に加え、任国で必要になる知識や技術、JICAボランティアとしての心構えを学ぶ多くの講座が実施されます。そのうちの一つ、「二本松フィールドワーク」が5月20日に行われました。188名の候補者がグループに分かれ、独自の視点で二本松市内、主に二本松旧市街地のスイーツ店舗を調査。途上国で活動する際、最初に必要なのは、自身の生活地域を知ることです。フィールドワークを通じ、これから向かう“異国”で生活するために必要な技術を、二本松市民の方々から教えていただきました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2017/ku57pq0000h3e5o.html>

★二本松のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/index.html>

◆筑波

取手歯科衛生専門学校施設訪問～研修員に歯磨き指導を実施～



JICA筑波では来日時に配布する歯科衛生マニュアルなどの効果で、研修員の歯科受診数は年々減少しています。しかし、出血や歯茎のはれ、出身国と異なる日本の食・生活習慣から来日後に虫歯にかかる研修員も見られ、一昨年度から取手歯科衛生専門学校による歯磨き指導を行っています。今年も一生懸命指導する学生さん達と研修員達との間で身振り手振りを交えたコミュニケーションが行われ、笑顔がたくさん見られました。研修員からは「正しい歯磨き方法を学ぶとても良い機会になった」と好意的な声が聞かれました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tsukuba/topics/2017/ku57pq0000h5o6z.html>

★筑波のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html>

◆東京 荒川区教育委員会と JICA 東京が「国際協力出前講座」にかかる覚書を締結



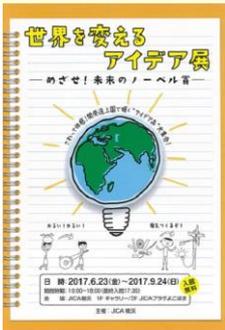
JICA 東京と荒川区教育委員会の「夢や希望を語り合う・ようこそ青年海外協力隊」事業は 12 年目を迎えます。5 月 31 日、今年度の覚書が結ばれました。青年海外協力隊経験者を学校へ講師として紹介し、体験談を語ることで、子ども達の好奇心・想像力を喚起し、人を大切にする心を育むなど、人材育成を目的としたものです。高梨博和 教育長からは、「事業を通じて、国際協力の実情や日本人がいかに国際貢献しているか、多くの児童・生徒に知ってもらい、一人でも多く国際的な視野を得てもらいたい」との言葉をいただきました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2017/ku57pq00000h3t3q.html>

★東京のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>

◆横浜 世界を変えるアイデア展／写真展「ハワイ日系人の歩み」



JICA 横浜では 9 月 24 日まで「世界を変えるアイデア展」を開催中。途上国の人々の生活を改善するため、日本の中小企業、世界各国のデザイナーや研究者のほか、現地の人々によって生み出されたアイデア品が大集合。展示品は、JICA が行う「中小企業海外展開支援事業」を通じて活用されている製品です。また、海外移住資料館では 9 月 3 日までハワイに渡った初期の日本人移民の暮らしや、第二次大戦中のハワイでの生活、日系二世部隊の活躍など、ハワイ日系社会がたどってきた道のりを紹介する写真展を開催します。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/yokohama/event/index.html>

★横浜のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html>

◆北陸 おかげさまで、JICA 北陸 設立 25 周年！ 2017 年度の合言葉は「温故創新」です！



JICA 北陸支部は富山、石川、福井を担当する JICA の国内拠点として歴史を重ね、今年度 25 周年を迎えました。JICA は数年前、「ODA で地方創生に貢献しよう」という大方針を高らかに打ち出しました。当支部もその担い手として、世界の国々と北陸を繋ぐ「結節点」となるべく様々な事業に取り組んで参りました。途上国支援も地方創生も、ひとつでも多くの笑顔をつくること、みんなで「幸せを分かち合う」仕事です。JICA 北陸はいつも市民の皆さまの身近な存在でありたいと思っています。金沢駅前の当支部へ、お気軽にお立ち寄りください。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/hokuriku/office/index.html>

★北陸のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/index.html>

◆駒ヶ根 2017 年度第 1 次隊派遣前訓練が修了しました！



6 月 14 日、あっという間の 70 日間の訓練を終え、2017 年度第 1 次隊の派遣前訓練修了式が行われました。多くの来賓の方が参列してください、中でも「安全に、健康で帰ってくるのが一番大切。送り出してくれる家族、会社の皆さん等への感謝の気持ちを忘れないで下さい」という祝辞が印象的でした。訓練生を代表して、渡邊希美恵さんが謝辞を述べ、最後に青年海外協力隊隊歌を斉唱。新たに JICA ボランティアとなった皆さん、2 年間の任期を終えて、元気にまたこの駒ヶ根の地に戻ってきてくださいね。

該当ページ <https://www.facebook.com/jicakomagane/posts/1372760072800491>

★駒ヶ根のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

◆中部 中京大学と大学連携ボランティア 2 案件に関する覚書を締結しました



JICA と学校法人梅村学園中京大学は、開発途上国におけるスポーツ分野の支援を目的とした大学連携ボランティアでアルゼンチン共和国柔道及びボツワナ共和国ソフトボールに関する覚書を締結しました。連携期間はともに 2017 年 6 月からの 3 年間。アフリカのスポーツ分野では初の大学連携となるボツワナへは全国トップレベルの学生 15 名～20 名程度と教員 1 名を毎年 1 回、「ボツワナソフトボール連盟」に派遣する予定です。ソフトボールの人气が高く、ボツワナ女子チームは 2020 年の東京オリンピック出場を目標としています。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chubu/topics/2017/20170623_01.html

★中部のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>

◆ 関西

「アフリカで活躍する関西の企業」～スマイリーアースのウガンダでの活動～



JICA 関西 1 階ロビーでは「アフリカで活躍する関西の企業」を 7 月 12 日まで展示中。途上国で活躍する関西の企業の一例として、JICA の中小企業海外展開支援事業を活用し、「オーガニック精練技術を活用した綿花製品の付加価値向上に関する案件化調査」を実施した大阪府泉佐野市の株式会社スマイリーアースのウガンダでの活動を紹介します。綿栽培に携わる現地の人々の様子や製造過程、ウガンダの生き物や自然の写真パネルのほか、実際に綿つみされたコットン、撚糸紡績の過程を経た糸見本、タオルなども展示しています。

該当ページ https://www.jica.go.jp/kansai/event/2017/170612_01.html

★関西のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kansai/index.html>

◆ 中国

【イベント報告】 JICA 研修員 地域の運動会に参加



快晴の 5 月 28 日、JICA 中国近くの東広島市立御園宇小学校の運動会に 9 名の研修員が参加しました。研修員の国、インドネシア、ウズベキスタン、タイ、メキシコ、ルワンダでは「運動会」がなく、今回初めての体験として児童や地域の皆さんと一緒に笑顔で汗を流しました。男性研修員達が参戦し、「もう 1 回！」という児童の要望で、予定より多く実施された綱引きも、大盛り上がり。午後の部では、研修員が自国の応援フレーズを紹介。会場全体にルワンダの「Oye Oye Oye!(オイエ オイエ オイエ)」の声も響き渡りました。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2017/20170615_01.html

★中国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>

◆ 四国

【四国初】 鳴門教育大学と連携ボランティア派遣に関する覚書を締結



JICA 四国は、6 月 30 日、四国では初めての事例となる鳴門教育大学とジャマイカへの小学校教育(算数)の連携ボランティア派遣に関する覚書を締結。鳴門教育大学は国内教員就職率 No.1 を誇り、途上国からの JICA 研修員をこれまでに 900 名近く受け入れ、ジャマイカへの短期ボランティアも 6 名の実績があります。同大学と連携し、定期的かつ安定的にボランティアを派遣することで合意しました。今後、5 年間で算数教育を専攻する学生等を短期ボランティア(3 名/年)および長期ボランティアとして派遣することを計画しています。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/shikoku/topics/2017/0703.html>

★四国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

◆ 九州

今年もやります、民族衣装で COOL BIZ !



毎年恒例、夏に民族衣装を着用するユニークなクールビズ(JICA 流 COOL BIZ)が 6 月 1 日よりスタートしました。民族衣装を着ることで様々な国とのつながりを肌で感じながら業務を行います。今年の初日は 6 月 1 日で、7 月 31 日までの毎週水曜日に実施します。涼しさに加え、衣装を通じての職員間コミュニケーションのきっかけとしても役立っています。また、研修員にとっても、自分の国の民族衣装を着用する職員に親近感がわき、異文化交流にもつながっています!

該当ページ <https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq0000h3kk2.html>

★九州のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>

◆ 沖縄

青年海外協力隊員 與那原祥さん、ソロモン諸島との五輪協定に貢献



ソロモン諸島の競泳代表チームが 2020 年東京五輪の事前キャンプを八重瀬町で実施することが決定し、ソロモン五輪委員会と沖縄県、八重瀬町は 5 月 25 日に協定を締結しました。元水泳競技者の與那原祥隊員は 2016 年の夏から青年海外協力隊員としてソロモン諸島で、水泳及び水球を指導。素直に泳ぐことを楽しみ、成長していく子どもたちに感銘をうけ、「ソロモンの選手をオリンピックの舞台に立たせる」という目標を見出しました。JICA 沖縄や沖縄県庁と何度も協議し、代表チームの合宿候補地として八重瀬町が選ばれました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/okinawa/topics/2017/ku57pq0000h5i3i.html>

★沖縄のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/okinawa/index.html>

◆地球ひろば ブロックで考える、私たちにできること



企画展「私たちがつくる未来 SDGs」の見学と、レゴ(R)とシリアスプレイ(R)というメソッドと教材を組み合わせ、SDGs(持続可能な開発目標)について、より楽しみ、より深く体感できるプレミアム・ツアーを中高生限定で開催します。事前に、「私たち中高生が考える、自分たちの身近にある SDGs とつながりそうなものや人」を写真に撮って、当日、カメラか携帯電話・スマートフォンでお持ちください。振り返りワークでは、レゴ(R)とシリアスプレイ(R)というメソッドと教材を活用し、展示見学で感じたことを形にしていきます。

該当ページ https://www.jica.go.jp/hiroba/information/event/2017/170727_01.html

★地球ひろばのことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

発刊責任者：国内事業部長
編集：国内事業部広報班（計画課）
tatpl@jica.go.jp